

## 定例記者会見資料



公立大学法人  
島根県立大学

○日 時	平成23年11月9日（水） 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p><b>【浜田キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学生と企業の交流会 「しま☆コミュ in 石見」の開催について……………【資料1】</li><li>・海遊祭プロジェクト「大学から海が見えない！ 静かに忍び寄る浜田の異変 ー越境大気汚染とどう向き合うかー」の浜田市役所での引越展示について ……………【資料2】</li><li>・国際文化交流のタベについて……………【資料3】</li><li>・ボランティア・ポイント抽選会について……………【資料4】</li><li>・【県立大生開発協力】 ライスバーガー販売開始……………【資料5】</li></ul>
○資料提供 項目	<p><b>【浜田キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市民研究員が主催する講演会の開催について……………【資料6】</li></ul> <p><b>【出雲キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一般住民による「模擬患者」参加の看護教育について……………【資料7】</li><li>・がん市民講演会「ご存知ですか？がんのピアサポート」の開催について ……………【資料8】</li></ul>
○行事予定	

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200

松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

H23.11.9

担当 キャリア支援室 福代

TEL 0855-24-2202

FAX 0855-24-2387

## 学生と企業の交流会 「しま☆コミュ in 石見」の開催について

### ■目的

中小企業を中心に島根県内の魅力的な企業の経営者と学生の交流の場を設け、人材のマッチングを図る。

■開催日時 平成23年11月16日（水）

■主催 島根県雇用政策課、島根県立大学、（公財）ふるさと島根定住財団

### ■内容

●講演会 15:00～16:30 会場 大講義室1

ゲストスピーカー

株式会社天彦産業 樋口友夫社長

～会社の発展は社員の幸せから～

創業136年を迎える老舗、天彦産業(大阪府大阪市)、社員の能力を発揮できるよう、システムを構築、社員第一主義経営を掲げる。

●交流会 16:45～19:00 会場 ビューライン

### ■参加対象者

学生：大学、短期大学、専修学校、高等専門学校等学生

企業：島根県内に事業所がある企業

※詳細別添のとおり

# しま☆コミュ in 石見

## ～学生と企業の交流会～

働くって何?? 社会に出るってどんな感じ? と悩んでいる学生さん!!  
 直接、県内の魅力あふれる会社経営者や社会人の先輩に聞いてみませんか?  
 大阪からゲストスピーカーを招き、学生・企業ともに学んだ後、  
 経営者の方を中心とした輝いている社会人の皆さんと交流します!

日時：平成23年11月16日(水)

講演会 15:00～16:30

交流会 16:45～19:00

場所：島根県立大学 【浜田市野原町 2433-2】

講演会 大講義室1室

交流会 ビューライン

# 新しい就活 のカタチ?!

## 学生×経営者



松江で8月に開催した同様の交流会は、学生さん満足度100%と大好評でした☆



地元を愛し、行動している企業が多く、都会にはない素晴らしい形態であると感じた

名前だけでなく直接話すことによって会社の雰囲気などわかった

HPの紹介だけでは得られない情報を得ることができた

就活に対する恐さが少し軽減された

様々な職種を知ると共に今大切にしなければならないことを学べた

※松江会場アンケート結果(H23, 8, 20)

参加対象学生：大学、短期大学、専修学校、  
 高等専門学校等の学生 ※最終学年は除く  
 対象企業：島根県内に事業所がある企業

参加費：一人につき1000円(※軽食代 ※当日集金します)

申込方法：FAX、またはメールにてお申し込み下さい。

【FAX】下記申込書に必要事項を記載し、送信してください

【メール】参加申込書の項目をメール本文に記載し、メールを送信してください。

※メールの場合、タイトルに「しま☆コミュ参加申込」とご記入ください。

申込締切：平成23年11月4日(金)

その他：服装は私服でOKです。(※ただし交流会を考慮した服装)

主催：島根県雇用政策課、島根県立大学、ふるさと島根定住財団

ゲストスピーカー  
 株式会社天彦産業 樋口友夫社長  
 ～会社の発展は社員の幸せから～

創業136年を迎える老舗、天彦産業(大阪府大阪市)、社員の能力を発揮できるよう、システムを構築、社員第一主義経営を掲げる。

参加された方には、定住財団特製エコバックとネクストラップをプレゼント♪

お問い合わせ・申込先：(公財)ふるさと島根定住財団 石見事務所 担当：榎森、小笠原

TEL：0855-25-1600 FAX：0855-25-1630 メール：[makimori@teiju.or.jp](mailto:makimori@teiju.or.jp)

### ～学生と企業の交流会～ しま☆コミュ 参加申込書

ふりがな			
氏名			
ご住所	〒		
電話番号	-	-	(当日連絡の取りやすい電話番号をご記入下さい)
メールアドレス			
学校名		種類	4年制大学・短大・専修高専・その他( )
学部		学年	

※ご記入いただいた個人情報については、「公益財団法人ふるさと島根定住財団個人情報保護規程」に基づき本事業の目的に限り使用します。

記者発表資料：平成23年11月9日

担当：浜田キャンパス

総合政策学部 教授 赤坂 一念

電話 0855-24-2200 (代)

海遊祭プロジェクト「大学から海が見えない！ 静かに忍び  
寄る浜田の異変－越境大気汚染とどう向き合うか－」の  
浜田市役所での引越展示について

海遊祭で大きな反響をいただき、海遊祭の最優秀賞（学術部門）を受賞した、安全保障論受講生有志 × 赤坂ゼミによる海遊祭プロジェクトが、このほど、浜田市市民環境部のご好意で、浜田市役所1階市民ロビーにて引越展示することになりました。詳細は下記の通りです。

【展示内容】「大学から海が見えない！ 静かに忍び寄る浜田の異変  
越境大気汚染とどう向き合うか」

【開催日時】 11月16日（水）～ 12月2日（金）

【開催場所】 浜田市役所1階 市民ロビー

【主催】 安全保障論受講生有志×赤坂ゼミ

【備考】 浜田市役所での1回目の引越展示は、10月18日（火）～  
11月2日（火）にすでに実施済みです。

浜田キャンパス内でのパネル再展示の予定は、次の通りです。

11月4日（金）～ 11月15日（火）

12月8日（木）～ 12月27日（火）

\*いずれもカフェテリアにて

【添付資料】 学長から市民のみなさまへのご挨拶（別紙1）  
担当教員からのご挨拶（別紙2）

## 市民のみなさまへ

平素より本学の研究・教育活動に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この10月9、10日に島根県立大学浜田キャンパスで開催された大学祭・海遊祭において、本学の授業科目である安全保障論の受講生有志と赤坂ゼミ生がプロジェクト・チームを組み、『大学から海が見えない！ 静かに忍び寄る浜田の異変ー越境大気汚染とどう向き合うかー』というテーマで、パネル展示を行いました。

海遊祭においては、幸いにも多くの市民の方々のご来場をいただき、展示室には400名を超える方々が足を運ばれ、大きな反響を呼びました。

このプロジェクトは、この「憂慮すべき事実」を授業の枠だけにとどめないで、「地域の方々に伝える」ことを使命として出発したと聞いております。このたびは、浜田市の市民環境部のご好意とお力添えを賜り、浜田市役所の市民ロビーでの引越展示が実現いたしました。

学生たちの「地域に対する熱い思い」が詰まったプロジェクトです。この問題の解決に向けて、広く地域社会のみなさまと気持ちを共有できればと思っております。

島根県立大学理事長・学長

**本 田 雄 一**

## 担当教員からのご挨拶

本プロジェクトは、2011年度春学期の安全保障論（受講生65名）から生まれた「珍しい企画」です。大学の講義から生まれた企画展示は、おそらく海遊祭で初めてではないでしょうか。

今年度の安全保障論は、「東日本大震災の安全保障学的考察」を皮切りに、「環境をめぐる安全保障」「食料安全保障」「情報の安全保障」「資源エネルギーをめぐる安全保障」「地域をめぐる安全保障」「安全保障をめぐるガバナンス」等をテーマに、15回実施しました。

このうち、5月13日と20日に実施した授業では「越境汚染—光化学スモッグを中心に—」を取り上げました。その内容は、「最近、黄砂でも霧でもないのに、晴れていても白くかすむ日が多くなった」「大学から水平線がくっきり見えない日が多くなった」という日常的な疑問の提起から出発し、「1985年から2001年までの都道府県別の光化学オキシダント濃度平均値は、何と島根県が全国トップ」（「山陰中央新報」2007年10月29日）という「寝耳に水」的な報道に接し、その驚きの事態とどう向き合うか、その対応策を真摯に考えようというものでした。

高度経済成長の1970年代に主に都市部で多く発生していた光化学スモッグは、日本国内では対策が進み、ほとんど死語のようになっていましたが、2000年代に入り、中国大陸からの汚染物質の流入で、西日本の各地で再び頻発するようになりました。またこの光化学スモッグや黄砂とは別に、晴天にもかかわらず空が白くかすむ「白いもや」も頻発するようになってきました。授業では、このような西日本における越境大気汚染の実態を新聞記事や各地の観測データから分析し、問題点を浮き彫りにしました。それを踏まえて、受講生がその対応策を積極的に提起し合いました。

授業当日も「白いもや」。教室の窓から海が見えない憂鬱な空でした。2月に実施したゼミ合宿も「白いもや」にかすむ日本海の水平線を右手に見ながら萩への移動という「巡り合わせ」が、受講生たちの知的好奇心をより強めました。

このような経緯で、6月初旬、受講生の一部から、この静かに忍び寄る「憂慮すべき事実」を授業の枠だけにとどめないで、地域の方々に伝えることができないか、という声が上がりました。同じく安全保障論を受講していた赤坂ゼミ生もこの声に賛同し、総勢17名でこの海遊祭プロジェクト・チームが始動しました。

プロジェクト・チームは、島根県、福岡県、熊本市、九州知事会、東京都等に観測データおよび関連資料の提供を依頼し、資料収集と分析、データ解析を繰り返してきました。私自身、学生たちのデータ処理能力の高さに目を見張りました。日々成長していく姿を間近で見て嬉しさを覚えました。実際、本プロジェクトで取り上げた表やグラフは、そのほとんどがプロジェクトチームのメンバーが手作りしたものです。その解析データをもとに、9月中旬以降は、チームで徹底的に議論し、展示内容や展示のための文章の手直しを行い、海遊祭直前の2週間は連日7、8時間、学内の会議室を「占拠」し、最終的には政策提言をまとめる段階にまで辿りつきました。

最後に、繰り返しになりますが、この静かに忍び寄る「憂慮すべき事実」を是非とも地域の方々と共有し、今後の対応策を考えていきたいという学生たちの「熱い思い」の結実が、本プロジェクトです。是非とも、最後までご覧いただければと思います。

2011年10月9日

安全保障論担当  
赤坂 一念

資料提供：平成23年11月9日  
担当：浜田キャンパス  
地域連携推進室 竹根、岡崎  
TEL 0855-24-2396

## 第11回国際文化交流の夕べについて

浜田キャンパスでは、国内外の様々な文化について相互理解を深めるとともに、学生、教職員と地域の皆様の交流を図ることを目的に、毎年12月「国際文化交流の夕べ」を開催しております。

今年は、第2部において地域から、あおい保育園（一輪車パフォーマンス）と石見智翠館高等学校（吹奏楽部）にゲスト出演をお願いしています。

### 記

- 1 日 時 平成23年12月7日(水) 15:45～19:20
- 2 場 所 島根県立大学 学生会館（カフェテリア）、講堂
- 3 主 催 等 主催 島根県立大学  
後援 島根県立大学支援協議会、大学を支える会
- 4 参加対象 島根県立大学の学生、教職員、地域の皆様
- 5 内 容 (第1部) 15:45～17:00 学生会館（カフェテリア）
  - ・学生・留学生の企画による交流会（歌、演奏など）
  - ・キャンドルナイト
  - ・イルミネーション点灯式(第2部) 17:15～19:20 講堂
  - ・あおい保育園の園児による一輪車パフォーマンス
  - ・島根県立大学の学生サークルによるダンス・演奏他
  - ・石見智翠館高等学校吹奏楽部による演奏会
- 6 その他
  - ・第1部、第2部ともに入場無料、申込不要です
  - ・第2部は入場整理券が必要です。
  - ・第1部の開催に先立ち、15:15より学生会館においてボランティア・ポイント抽選会が開催されます。



# 第11回 国際文化交流の夕べ

第1部



大学生と地域の皆様  
との交流会です

入場無料

第1部には整理券、事前申込不要

- 市民・学生・留学生  
による歌 他
- キャンドルナイト
- クリスマス  
イルミネーション点灯式



日時

2011  
12.7 [水]

15:45  
START

15:15より

学生ボランティア活動報告会  
ボランティア・ポイント抽選会

一般の方も抽選会に参加できます

会場

島根県立大学 学生会館  
(カフェテリア)

主催 / 島根県立大学

後援 / 島根県立大学支援協議会 大学を支える会



# 第11回 国際文化交流の夕べ

## 第2部

ゲスト 石見智翠館高等学校吹奏楽部

- ◆第52回全日本吹奏楽コンクール中国大会金賞受賞
- ◆第13回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜 出場

**入場無料**

第2部は入場整理券が必要です

曲目「クリスマスメドレー」



オープニング

日時 2011  
**12.7** [水]

17:15開演(16:45開場)

会場 **島根県立大学 講堂**

主催 / 島根県立大学

後援 / 島根県立大学支援協議会 大学を支える会

あおい保育園一輪車パフォーマンス  
学生サークル等によるダンス・演奏 他

**第2部入場申込方法**

第2部の入場には整理券が必要です。

～ 整理券配布場所 ～

- ・浜田市教育委員会
- ・シティパルク浜田店
- ・みずほ楽器
- ・島根県立大学事務局 ほか

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2

島根県立大学 地域連携推進室

TEL:0855-24-2396

資料提供：平成 23 年 11 月 9 日  
担当：浜田キャンパス  
交流研究課（地域連携推進室）岡崎  
TEL 0855-24-2396

## ボランティア・ポイント抽選会の開催について

浜田キャンパスでは、学生のボランティア活動を奨励し、学生による地域交流や地域貢献活動を促進させるため、本年度からキャンパス・マイレージ事業を開始しました。

この度、獲得したボランティア・ポイントを使って参加する抽選会を、下記のとおり開催いたします。

### 記

- 1 日 時 平成 23 年 12 月 7 日(水) 15:15～15:45
- 2 場 所 島根県立大学 学生会館食堂（カフェテリア）
- 3 内 容
  - ・抽選会に先立ち、学生が取り組んできた活動を、学生・市民の皆さまに紹介する。
  - ・ボランティア活動 1 日につき 10P のボランティア・ポイントを発行し、10P で抽選券 1 枚と交換する。
  - ・ボランティア依頼主提供によるお米のほか、学生の声を聞いて選んだ浜田市共通商品券、旅行券などを景品として準備する。
  - ・ボランティア活動に参加できなかった学生や当日参加された市民の皆さま向けの抽選会も予定している。
- 4 その他 抽選会に引き続いて「国際文化交流の夕べ」を 15:45 から開催予定。

2011年11月9日

島根県立大学 浜田キャンパス

担当者:橋本文子(JST 人材育成グループ)

電話:090-2328-1323

## 【県立大生開発協力】 ライスバーガー販売開始

～小坂集落「稲守米」×島根県立大学(2010年度金野・西藤ゼミ)～

### 1. 目的・理由

浜田市中心部から車で30分ほどに位置する小坂(おさか)集落(島根県浜田市弥栄町小坂)では、平成6年に「小坂農業生産組合」を立ち上げ、大型機械の共有化や共同作業に取り組んでいる。また、各農家の顔が見える米作り(米のトレーサビリティシステム)や、環境に配慮し低化学肥料・減農薬のエコ栽培方法を全農家に徹底した食の安全にも努めている。そんな小坂生産組合のつくる“稲守米(いもりまい)”のPRとして、「稲守米や弥栄の食材を使用したライスバーガーを作りたい」と、組合長である久谷義美氏よりご提案いただいた。そこで2010年度秋学期に、実際に商品のアイデア出しから参加し、地域の方々との意見交換を交えながらライスバーガーを作るというフィールド学習を、フレッシュマンセミナー(金野・西藤ゼミ)学生 29名と共に実施した。

フィールドワーク終了後、集落内で加工グループ「おさか小町」が結成。何回も試作を重ねたのち、今回浜田キャンパスの売店にて「きんぴら肉入りライスバーガー」が販売されることとなった。



### 2. 販売場所・販売日

11月16日(水)より、浜田キャンパス内売店にて販売開始(以降、隔週水曜日に販売)

※12時頃より、加工グループ「おさか小町」の方々が販売をいたします。

### 3. 販売価格

300円(限定30個)

### 4. 製造者

加工グループ「おさか小町」(代表 久谷義美)

## 5. これまでの経緯



### 1) 2010年10月25日(月) 顔合わせ

- ・ 「顔合わせ」として島根県立大学に久谷氏をお招きし、小坂集落や小坂農業生産組合の取り組みについて、またライスバーガーづくりを思い立った経緯についてお話を伺った。
- ・ 以後、週1回実施される演習では、金野和弘先生、西藤真一先生、田中恭子先生より商品企画案を作るための方法(ターゲット設定、市場動向調査、コスト計算、アンケートの実施など)をご指導いただいた。



### 2) 2010年12月19日(日) 企画発表会

- ・ 学生29名が6班に分かれ、それぞれ若者を対象にしたライスバーガー(若者A・B・C班)とシニアを対象としたライスバーガー(シニアA・B・C班)を考案。小坂集落を訪れ、グループごとに練ったライスバーガー企画案を地域の方々の前で発表し、意見をいただいた。
- ・ 組合員の方々からは、「よく調べてある」、「わしらじゃ思いつかない」と好評であった。



### 3) 2011年1月30日(日) 試食会①

- ・ 企画案をもとに県立大生が「きんぴら肉ライスバーガー」「カレーピラフバーガー」「お茶漬け風バーガー」など若者向けとシニア向けに考案した計7種類のバーガーを調理し、生産組合の方々へ試食していただいた。
- ・ 地域の方々からは、「味がしっかりついていておいしい」、「アイデアが抜群!」という意見に加え、「ごはんの量がちょっと多いかも」、「サイズを小さくしたほうが食べやすい」など、改良のアドバイスもいただいた。



### 4) 2011年6月15日(水) 試食会②

- ・ 県大生からの刺激を受け、バーガーの商品化に取り組むグループ「おさか小町」が小坂集落の女性有志によって結成された。多い時には週2回試食会を開き、約2カ月にわたって味付けや包装などを研究。
- ・ ある程度の形が決まったところで、県大生約40名に参加してもらい試食会を開いた。学生からは、「若者はもっと味が濃くても良い」「ひとつだとお腹がいっぱいにならないのでサイドメニューをつけたらどうか」などの意見が続々出た。

資料提供：平成23年11月9日  
担当：浜田キャンパス  
交流研究課 佐草  
TEL 0855-24-2201

## 市民研究員が主催する講演会の開催について

島根県立大学では、地域の研究者や有識者との連携を強化することにより、北東アジア地域研究センター（NEARセンター）の研究活動の活性化や大学院教育の充実を図ることを目的として、平成18年度に市民研究員制度を創設し、毎年活動いただいております。

この度、NEARセンター市民研究員の勉強会を一般の方にも公開する形で下記のとおり講演会が企画されましたのでお知らせします。

### 記

- 1 日時 平成23年11月12日（土）14：00～16：00
- 2 場所 島根県立大学交流センター2F コンベンションホール
- 3 主催 NEARセンター市民研究員代表委員
- 4 内容
  - ・バールィシエフ・エドワルド氏（NEARセンター嘱託助手）  
「母国ロシアについて——故郷ウラルと自己体験を中心として」
  - ・豊島秀明氏（NEARセンター市民研究員）  
「古事記について」
  - ・阿部志朗氏（NEARセンター市民研究員）  
「石見地方の陶器の流通について——市民研究員制度を利用して」
- 5 参加 入場無料、事前申込み不要
- 6 問合せ先 NEARセンター事務室 新井（0855-24-2375）
- 7 その他 当講演会は、市民研究員臨時全体会に併せて開催されるものであり、講演会終了後引き続いてグループ・リサーチ・サロンを開催します。

※市民研究員グループ・リサーチ・サロンについて 別紙のとおり

# 市民研究員グループ・リサーチ・サロン

NEAR センター  
研究員

大学院生

交流・連携

市民研究員代表委員／連絡会

## 市民研究員

大学院生と市民研究員の共同研究

### グループ・リサーチ・サロン



#### 北東アジア地域の人的交流

【例】北東アジアを舞台に活躍した日本人、観光等の人的交流など



#### 地域の中の北東アジア

【例】山陰/石見地域と北東アジア地域、地域に眠る北東アジアのひと・もの・ことなど



#### 北東アジア地域の歴史と文化

【例】史資料（古文書）発掘・解読、北東アジアの言語、宗教など



#### 北東アジア地域の現代的課題

【例】北東アジア諸国の経済関係・企業活動・外交・環境問題・福祉など

### 研究・活動成果

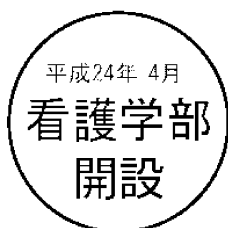
研究資金  
獲得の助走

個人研究の  
深化

地域への  
政策提言

成果報告会

年次報告書



平成 23 年 11 月 9 日  
島根県立大学  
短期大学部 出雲キャンパス  
看護学科 吉川洋子  
電話 0853-20-0200〔代表〕

## 一般住民による「模擬患者」参加の看護教育について

### 1. 目的

出雲キャンパスでは、健康な人がさまざまな病気の患者を演じて、学生の教育に協力する「模擬患者」参加による教育を実施しています。

これは、学生の実践能力を高め、患者中心の医療を実践してもらうことをねらいとするものです。これまで人形を使うか、教員や学生同士が患者役を務めてきましたが、より臨場感高く、緊張感をもって真剣に取り組むことを目的として、住民の方に模擬患者として参加していただきます。

### 2. 日時

平成 23 年 12 月 1 日 (木) 9 : 00 ~ 12 : 10

### 3. 場所・会場

島根県立大学短期大学部出雲キャンパス 215 実習室

### 4. 内容

人間関係を成立させ、看護に必要な情報を得る技術としてのコミュニケーションについて、模擬患者参加型の演習を行います。

模擬患者は事前に大学側が用意したシナリオに基づいて演技し、学生の応対に対して感じた印象や思いを伝えていきます。

### 5. 模擬患者

出雲キャンパスでは、3年前から一般市民を対象に模擬患者(SP)養成講座(全5回)を開講していますが、この養成講座を修了された方に、今回の演習にご協力頂き



ます。(SP=Simulated Patient)

地域住民の立場から、看護を行う上での問題点を指摘してもらいながら、患者から信頼される看護師の育成につなげていきます。

## 6.参加者

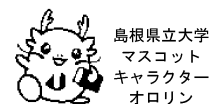
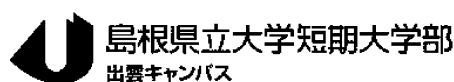
島根県立大学短期大学部看護学科1年次生 80名  
一般市民模擬患者6名(予定)

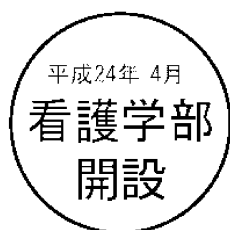
## 7. その他

模擬患者は 1960 年代に米国の医療教育に導入され、日本では 90 年代に入って定着が進んできました。国内では大半の大学の医学部で授業に取り入れられていますが、看護学科のみでは少ない状況です。模擬患者養成と養成した模擬患者を実際の教育で活用する取組は県内では本学だけです。

今回は1年生を対象にコミュニケーションの模擬演習を実施し、12月下旬には、2年次生にも看護技術を含めての模擬演習を実施するプログラムにも参加していただくことにしています。

本学の取組を広く市民の方に理解して頂き、模擬患者や模擬患者として教育に参加することに興味・関心を持って頂きたいと思います。





平成23年11月9日  
島根県立大学 出雲キャンパス  
看護学科 平野 文子  
管理課 金築 利博  
電話0853-20-0200

平成23年度がん市民講演会「ご存知ですか？がんのピアサポート」の開催について

1. 目的

がんのピアサポートの必要性と意義について、がん患者・家族、医療・行政等の関係者、一般市民に広く理解していただく機会とする。

2. 日時

平成23年11月23日(祝) 13:00～16:00

3. 会場

島根県立中央病院 2階 大研修室  
出雲市姫原4-1-1

4. 主催

島根県  
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス ピア・サポーター養成員研修委員会  
※後援 島根県立中央病院

5. 内容・対象

1)内容

○講演:「もう一人で悩まない～ご存知ですか？ がんのピアサポート」 13:10～14:30

講師: NPO法人ミーネット理事長 <sup>はない</sup> <sup>みき</sup> 花井 美紀 氏

○講演:「がんと向き合い、ピアサポートに取り組む」 14:40～15:15

講師: がん治療体験者(NPO法人ミーネット運営サポーター) <sup>いとう</sup> <sup>かずなお</sup> 伊藤 和直 氏

○ミニコンサート 15:35～15:55

2)対象

がん患者・家族、医療・行政等関係者、その他一般の方(どなたでも参加できます)

## 6. 出席者・参加人数

参加人数:約200名

## 7. 参加方法

### 1)参加申込

不要

### 2)参加費

無料

## 8. これまでの経緯や今回の特徴など

この講演会は、島根県立大学短期大学部出雲キャンパスが島根県から委託を受け、今年度から取り組みを始めた「平成23年度がん相談員等資質向上事業」の1つである、「ピア・サポーター養成研修事業」の一環として行うものです。

「ピア」とは、「仲間」、「サポート」とは「支える」「援助する」を意味する言葉であり、がんの「ピアサポート」は、患者さんやそのご家族が自分の体験を生かして新たにかんにかかった患者さんを支える活動であり、新しい形のがん患者支援として、近年、全国各地で活動が広がりにつつあります。

この講演会では、ピアサポート活動の先駆者である、名古屋市のNPO法人ミーネットの理事長である花井美紀氏とがん体験者で、現在、ミーネットの運営サポーターとしてピアサポート活動に取り組んでいらっしゃる伊藤和直氏を講師に迎え、がんのピアサポートの必要性や意義を中心にお話ししていただきます。

平成23年度 がん市民講演会  
～ご存知ですか？ がんのピアサポート～

- 目的 がんのピア・サポートの必要性と意義について、がん患者・家族、医療・行政等の関係者、一般市民に広く理解していただく機会とする。
- 主催 島根県  
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス ピア・サポーター養成研修委員会
- 後援 島根県立中央病院
- 日時 平成23年11月23日（祝日） 13:00～16:00
- 会場 島根県立中央病院 2階 大研修室  
島根県出雲市姫原4丁目1番地1
- 対象 がん患者さん・ご家族、医療・行政等関係者の方、その他一般の方（どなたでも参加できます。）  
\*参加申込は不要
- 参加費 無料

≪講演会日程≫

- 開会 13:00～  
・主催者挨拶（島根県健康福祉部医療政策課より）
- 講演 13:10～14:30  
「もう一人で悩まない～ご存知ですか？がんのピアサポート」  
講師：NPO法人ミーネット  
理事長 花井 美紀 氏
- 休憩 14:30～14:40
- 講演 14:40～15:15  
「がんと向き合い、ピアサポートに取り組む」  
講師：がん治療体験者（NPO法人ミーネット 運営サポーター）  
伊藤 和直 氏
- 質疑応答 15:15～15:30
- ミニコンサート 15:35～15:55
- 閉会 16:00  
・主催者挨拶  
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス ピア・サポーター養成研修委員会  
委員長 平野 文子

★講師プロフィール★

\*花井 美紀（はない みき）氏

名古屋市在住。地元テレビ・ラジオの医療・健康分野のインタビュアー等を務めた後、医療機関と患者のよりよいコミュニケーションをテーマに市民活動に取り組む。父や親しい友人をがんで亡くしたことをきっかけとして、がん患者支援を活動の柱とした「NPO法人ミーネット」を設立。がん種別患者会やフォーラムの開催、がんのピアサポーター養成、病院内でのピアサポート活動に取り組みながら、名古屋市と協働で運営する「名古屋市がん相談情報サロン・ピアネット」の所長として運営にあたっている。厚生労働省がん対策推進協議会委員。

\*伊藤 和直（いとう かずなお）氏

自身の16年におよぶがん体験を活かし、支えて頂いた方々への恩返しとして「ピアサポーター」になることを希望。NPO法人ミーネットの第1期ピアサポーター養成講座を受講し、2009年より「名古屋市がん相談情報サロンピアネット」でのピアサポートの他、病院での院内ピアサポート活動にも積極的に携わっている。

≪問い合わせ先≫

島根県立大学短期大学部出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局 安食  
TEL/FAX 0853-22-6522